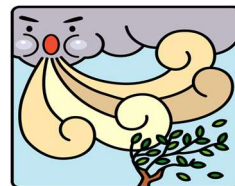


このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。



台風に対する備えをしよう！

近年、線状降水帯や台風による被害が全国で多発しております。台風は予め進路を予測できるため、被害が出る前に早期の避難や在宅避難の準備を行いましょう。避難所の開設状況は「市公式 LINE」や登録制の「市民安全メール」にて情報を発信していますので、登録がまだお済でない方はこの機会にぜひ登録をお願いします。



【市公式 LINE】 【市民安全メール】

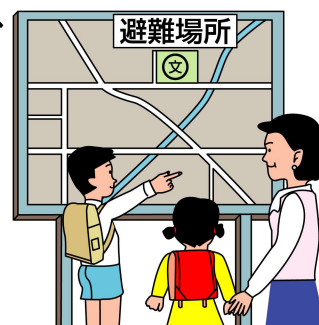


近隣の避難所を確認しておこう！

「大和郡山市総合防災マップ」を見たことはありますか。本市では令和2年4月に全戸配布しました。市内全域の浸水想定区域を記載したハザードマップや土砂災害警戒区域、市指定避難所等の情報を1冊にまとめてあります。



自分の住んでいる地域の特性や周辺の市指定避難所を必ず把握しておいてください。時間があるときに自宅から最寄りの避難所まで散歩をすることもオススメです。歩いていくことで新たな気づき生まれるかもしれません。また「大和郡山市総合防災マップ」には上記の情報だけでなく、災害について様々なことが学べます。



ぜひ、一度読んでいただき、防災意識を高めましょう！

各家庭で多めの備蓄を心がけよう！

地震や台風等による浸水被害に備え、各家庭で備蓄をしっかりとできていますか。まず、本市が各家庭に備蓄をお願いしているのが、食料・水・トイレです。食料・水に関しては、最低3日分、できれば1週間分は確保しておきましょう。普段食べているインスタント食品や缶詰等を多めに買う習慣をつけておけば、いざという時に役に立ちます。一定数の備蓄を確保するために、使ったら使った分だけを新しく買い足すローリングストック法を活用すると無理なく備蓄ができてオススメです。近年では震災の影響やアウトドアブームもあり、アルファ米等をスーパーでも見かけます。一度は手に取っていただき、実際に食べてみましょう！



次にトイレ問題です。大半の家庭が水洗式のトイレを活用されていると思いますが、発災時は断水や配管損傷により使用不可になることも想定されます。またマンションの場合、しばらくは屋上の貯水タンクの影響で水が使用できる可能性はありますが、貴重な飲み水ですので、状況がわかるまでトイレの使用は控えましょう。また上層階で排水管が損傷したまま水洗を使用すると、階下の住宅に汚水が流れ込む等のトラブルが発生する恐れがあります。戸建て住宅においても例外ではなく、下水管が損傷しているのに排水を続けると路上に汚水が溢れる恐れがあります。そのため、本市では携帯用トイレ(トイレ処理剤)の備蓄をオススメしております。普段のトイレに処理剤の入ったビニール袋をかけて使用し、排便後は袋を閉じ、そのままゴミとして処分可能です。食料等とあわせて備蓄しておきましょう！

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

大和郡山防災ニュース	🔍	検索
------------	---	----

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

大和郡山市消防団へようこそ	🔍	検索
---------------	---	----